

経済力を高める中国と自国優先主義に突き進むアメリカとの間で、商取引の関連規制が複雑化している。2019年にはアメリカで国防権限法に基づき華為技術など中国企業の製品を政府機関が調達するのを禁じ、他方で2020年に中国は輸出管理法を施行して特定の外国企業をリスト化し輸出を制限するなど、双方で重層的に規制が設けられた。中国やアメリカに拠点を置いて事業活動を展開する日本企業にとって、こうした動きはもはや他人事ではない。日本企業は、幾重にも重なる諸規制やルールの把握・理解から、グローバルでの順守体制の構築、その後の体制モニタリングに至るまで、さまざまな対策を講じる必要に迫られている。地政学の変化によって、中核事業以外の管理コストが飛躍的に高まり、ルール違反と判断された際のインパクトも相当高まるだろう。

幸い、JOIには、これらの問題に対してプロフェッショナルの知見を提供できる会員（外国法律弁護士事務所、会計コンサルタント、リスク分析コンサルタントなど）が多数所属している。複雑な経済制裁への対応などの課題に対して、JOIが提供するセミナーや企業研修（会員特別価格）を活用して、解決の糸口を見つけていただければ幸いである。

総務部長 田丸伸介

海外投融資

Vol.30 No.1 (通巻175号)
2021年1月25日発行

発行
一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人
日塔 貴昭
〒102-0073
東京都千代田区九段北二丁目
3番6号 九段北二丁目ビル
TEL. 03-5210-3311 (代)
URL. www.joi.or.jp

制作協力
(株)エディポック

*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.
©Japan Institute for Overseas Investment Printed in Japan



九段だより バーのある人生 (10) カクテル12カ月

チェコの劇作家カレル・チャペックの作品にZahradníkův rok (邦題「園芸家12カ月」(中公文庫))という本がある。1月から12月まで「園芸家あるある」が書かれていて、季節ごとの庭いじりの悩みは昔も今も変わることが無いことがよくわかる。ネタ不足に窮する筆者は今回これに便乗し、バーの飲み手としての「カクテル12カ月」を考えてみた。

- 1月**：年明けは「バーのお屠蘇」マティーニが欠かせない。つい数日前までの年末のドサクサは何処へやら、生まれて初めて酒を飲むような新鮮な気持ちになるのは正月のなせるワザである。
- 2月**：この時期、極寒の街が恋しくなる。札幌やまぎきの「サッポロ」、そして酒田ケルンの「雪国」。各々が発祥のスタンダードカクテルを本場で飲むのであればこの時期がいちばん相応しい。
- 3月**：一年中出回っているグレープフルーツ、実は旬はこの時期である。3月のソルティードッグは一味違うような気がするのは私だけだろうか。
- 4月**：ウォッカの代わりにズブロッカをベースにした桜餅味のモスコミュールを飲めば花見気分。実際の花見より気分がいい。
- 5月**：5月といえばケンタッキーダービーゆかりのミントジュレップである。2020年のダービーは146年の歴史上初めて9月の開催となった。コロナ恐るべしである。
- 6月**：ミントといえばモヒートも外せない。この時期、店

内の客全員がモヒートを飲んでいる光景も珍しくない。梅雨に似合うといえばグラスホッパーも好きである。

- 7月**：夏は何といてもベリーニである。酸味の効いたハシリから完熟した甘みへと、季節の進みとともに桃の味わいが変わってくるのが楽しい。
- 8月**：暑すぎてビール以外に思いつかない……。でも焚火を囲んでのバーボンソーダなんて気持ちいいだろうなあ。
- 9月**：実りの秋。梨、巨峰のフルーツカクテルもいいが、暑さが収まりはじめ、酒らしい酒が飲みたくなる時期。シンプルにして奥深いダイキリなんかで初心を思い出し。
- 10月**：秋が深まると濃い色の酒が恋しくなる。これぞ秋！といえばマンハッタン。何かの映画の影響か自分的にはニューヨークは秋の季語である。
- 11月**：このころ旬を迎える柘榴。バーのカウンターの上に柘榴を見かけたらジャックローズの一択。絶対うまい。
- 12月**：酒量が増える師走、体に優しいホットカクテルありがたい。ホットカクテルの大定番といえばアイリッシュコーヒー。バーで「アイリッシュコーヒーはじめました」と言われると冬の到来である。夏の「冷やし中華はじめました」と同じである。



湯島「EST」の
アイリッシュコーヒー

専務理事 日塔 貴昭